

政府電子調達(GEPS)
操作マニュアル

トラブルシューティング編

令和6年8月

もくじ

もくじ	1
本マニュアルについて	2
1. 利用者環境トラブルシューティング	3
1.1 エラー画面	3
現象:「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」 が表示される.....	3
現象:[CLIENT-ERR-EXT-00102]が表示される	4
現象:「セキュリティ警告」画面が表示される	4
現象:[CLIENT-ERR-EXE-0033]が表示される	5
現象:[CLIENT-ERR-EXE-0043]が表示される	5
現象:「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示される	6
現象:「サーバとの接続に失敗しました。」が表示される	7
現象:「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される	9
1.2 “core_relay_sys.log”を確認する	12
現象:「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの 一部ではありません。」と記載されている場合	12
現象:「アクセスが拒否されました。」と記載されている場合	14
1.3 ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアする.....	15
1.3.1 Microsoft Edge のキャッシュおよび Cookie をクリアする	15
1.3.2 Google Chrome のキャッシュおよび Cookie をクリアする.....	16
2. メッセージ一覧.....	18
2.1 通知メッセージ	18
2.2 エラーメッセージ	18
改訂履歴	21

本マニュアルについて

政府電子調達（GEPS）を利用する事業者向けのマニュアルです。

政府電子調達（GEPS）の利用者環境に関するトラブルシューティングと、システムが表示する通常メッセージやエラーメッセージについて説明しています。

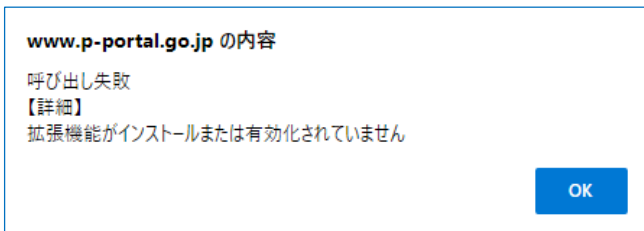
1. 利用者環境トラブルシューティング

1.1 エラー画面

電子調達システム用プログラムをインストール中または起動したときに表示される、警告画面やエラーメッセージの対処方法を説明します。

現象:「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」が表示される

「呼び出し失敗【詳細】拡張機能がインストールまたは有効化されていません」が表示される。



■ 原因

次の原因が考えられます。

- 拡張機能のインストールが完了していない
- 拡張機能が有効になっていない

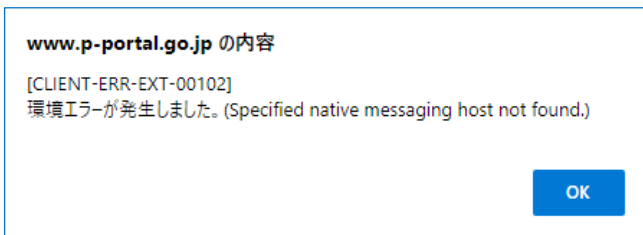
対処方法

使用するパソコンに、拡張機能がインストールされているか確認してください。また、拡張機能の状態が「有効」になっているかも確認してください。

詳しくは、調達ポータル操作マニュアル『セットアップ編』の「ブラウザの設定をする」を参照してください。

現象:[CLIENT-ERR-EXT-00102]が表示される

「[CLIENT-ERR-EXT-00102]環境エラーが発生しました。(Specified native messaging host not found.)」が表示される。



■ 原因

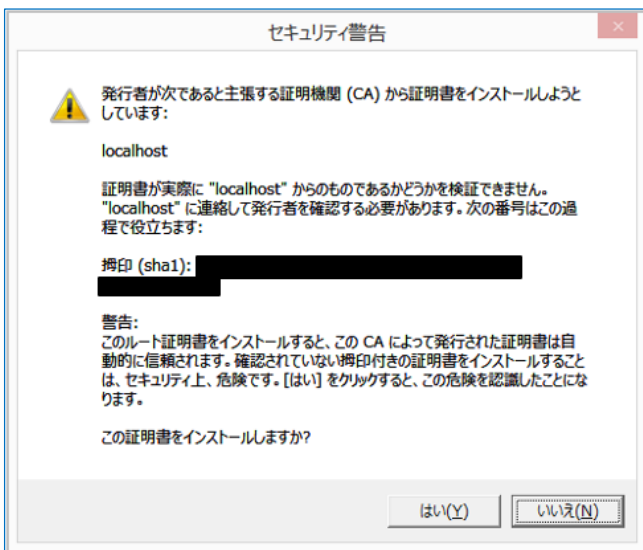
調達ポータル・電子調達システムプラグインのインストールが完了していない可能性があります。

対処方法

使用するパソコンに調達ポータル・電子調達システムプラグインがインストールされているか、確認してください。詳しくは、調達ポータル操作マニュアル『セットアップ編』の「プラグインと電子調達システム用プログラムをインストールする」を参照してください。

現象:「セキュリティ警告」画面が表示される

電子調達システム用プログラムを起動すると、「セキュリティ警告」画面が表示される。



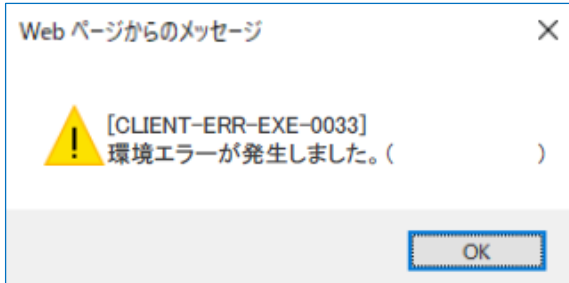
「セキュリティ警告」画面に表示される拇印の数字は毎回変更されるため、マニュアルに掲載されている画面と異なることがあります。

対処方法

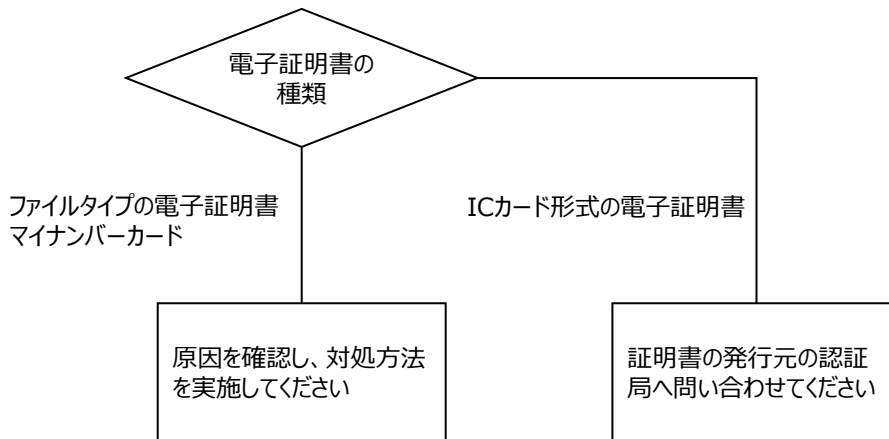
「セキュリティ警告」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。セキュリティ警告画面で [いいえ] をクリックした場合、「予期せぬエラーが発生しました。」と表示されます。その場合は、スタートメニューから電子調達システム用プログラムを再起動し、セキュリティ警告画面で [はい] をクリックしてください。

現象:[CLIENT-ERR-EXE-0033]が表示される
 現象:[CLIENT-ERR-EXE-0043]が表示される

電子証明書を読み込むと、「[CLIENT-ERR-EXE-0033]環境エラーが発生しました。」または「[CLIENT-ERR-EXE-0043]環境エラーが発生しました。」と表示される。



電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の対処方法を実施してください。



■ 原因

電子認証ソフトでの証明書情報の取得に失敗している可能性があります。

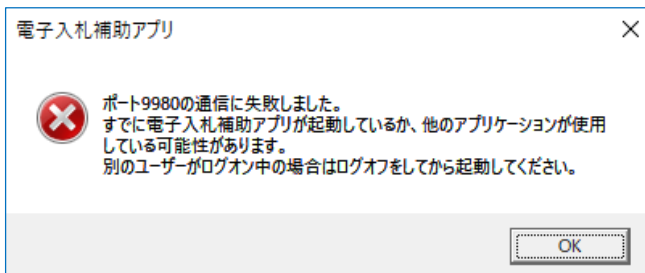
- 複数の認証局のクライアントソフトがパソコンにインストールされている
- 認証局から提供されるクライアントソフトの設定が完了していない

対処方法

- 複数のクライアントソフトがインストールされている場合は、利用していない認証局のクライアントソフトをアンインストールしてください。
- クライアントソフトを1つしかインストールしていない場合は、クライアントソフトの設定が正しいか確認してください。クライアントソフトの設定については各認証局のホームページなどで確認し、解決しない場合は各認証局にお問い合わせください。

現象:「ポート 9980 の通信に失敗しました。」が表示される

「ポート 9980 の通信に失敗しました。すでに電子入札補助アプリが起動しているか、他のアプリケーションが使用している可能性があります。別のユーザーがログオン中の場合はログオフしてから起動してください。」が表示される。



■ 原因

次の原因が考えられます。

- すでに電子調達システム用プログラムが起動している
- ネットワークのエラーが発生した
- 他のアプリケーションがポート番号 9980 を利用している

対処方法

電子調達システム用プログラムが起動しているか、タスクトレイを確認してください。



タスクトレイに電子調達システム用プログラムのアイコンが表示されている場合は、電子調達システム用プログラムは正常に起動しています。

電子調達システム用プログラムは、初回はスタートメニューから起動する必要がありますが、パソコンを再起動したときは自動で起動します。スタートメニューから起動する必要はありません。

タスクトレイに電子調達システム用プログラムが表示されていない場合は、次の手順で対応してください。

1 しばらく待ってから、電子調達システム用プログラムを起動します。

2 エラー画面が再度表示された場合は、パソコンを再起動します。

電子調達システム用プログラムは自動的に起動します。

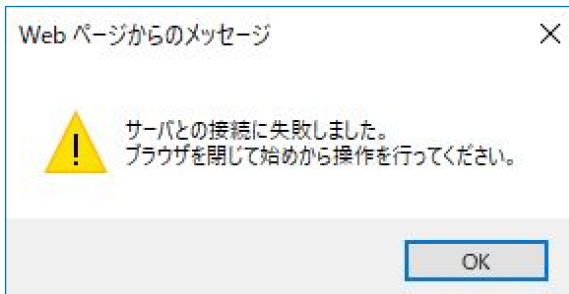
■ パソコンを再起動してもエラー画面が表示される場合

他のアプリケーションがポート番号 9980 を利用している可能性があります。同一ポート（9980）を利用したアプリケーションとは共存できませんので、下記のいずれかで対応してください。

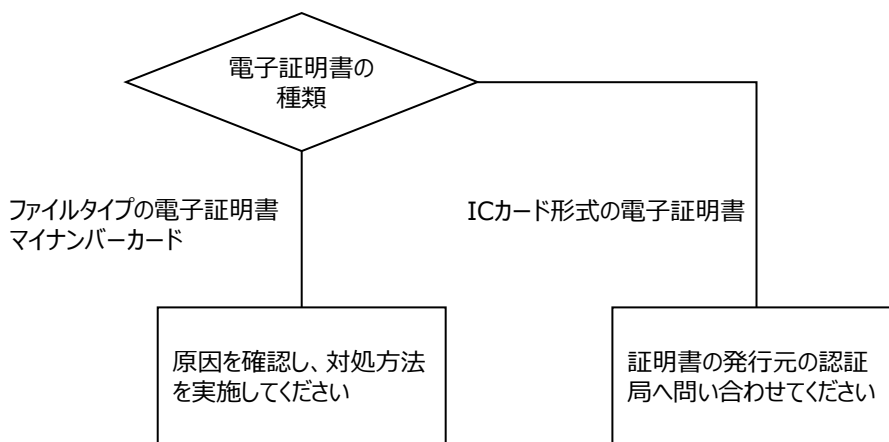
- 他のパソコンを使用する
- 競合しているアプリケーションを停止する

現象:「サーバとの接続に失敗しました。」が表示される

「サーバとの接続に失敗しました。ブラウザを閉じて始めから操作を行ってください。」が表示される。



電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の対処方法を実施してください。



■ 原因

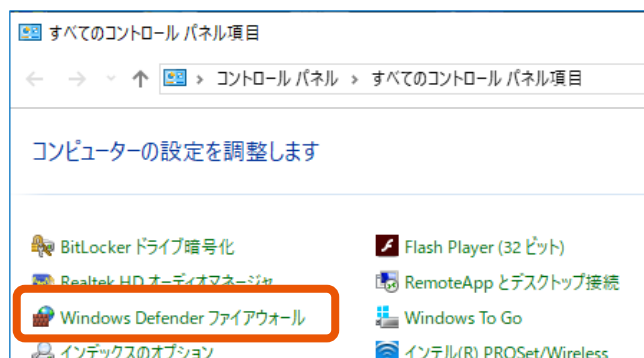
電子調達システム用プログラムを初回起動する際に実施するファイアウォールの設定で「キャンセル」を選択した。

対処方法

ファイアウォールの設定を確認し、次の手順でブロックされている電子調達システム用プログラムを削除してください。

※OS の管理者権限での実行が必要な操作がありますが、実行できない場合は、組織の PC 端末等の管理担当にお問い合わせください。

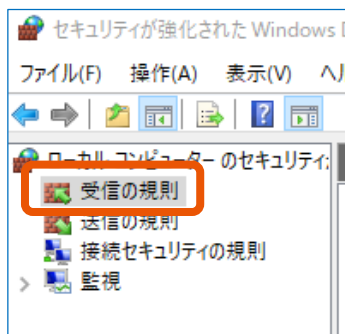
- 1 コントロールパネルで「小さいアイコン」表示に設定し、「Windows Defender ファイアウォール」を選択します。



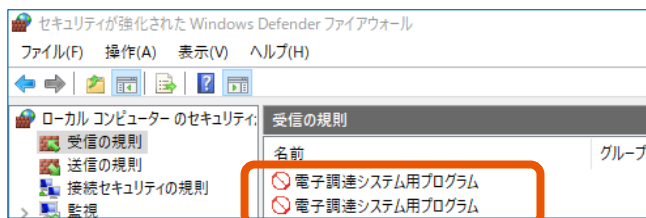
- 2 「詳細設定」を右クリックし、「その他」>「管理者として実行」をクリックして管理者権限で実行します。



- 3 「受信の規則」を選択します。



- 4 電子調達システム用プログラムを2つ選択し、右クリックします。



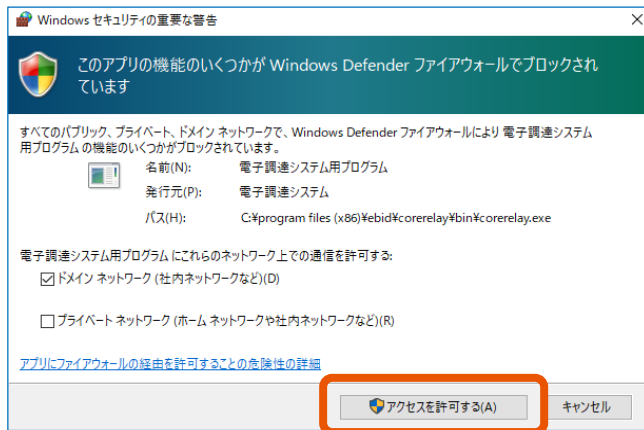
- 5 [削除] を選択し、[はい] をクリックします。

- 6 ファイアウォールの設定関連のウィンドウを閉じます。

- 7 タスクトレイから、電子調達システム用プログラムを終了します。

- 8 電子調達システム用プログラムを再起動し、ファイアウォールの設定画面で [アクセスを許可する] を

選択します。

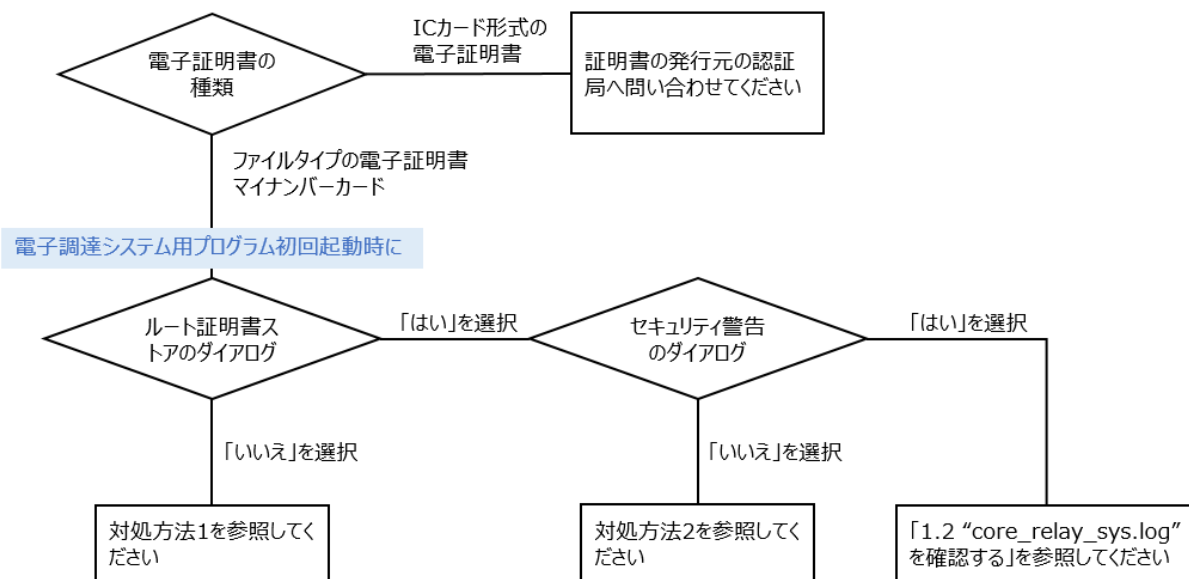


現象:「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される

「予期せぬエラーが発生しました。」が表示される。



電子調達システム用プログラムの初回起動時に、電子証明書の種類を確認し、当てはまる状況の項目をご確認ください。



■ 原因

- 電子調達システム用プログラムの初回起動時に、ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した。

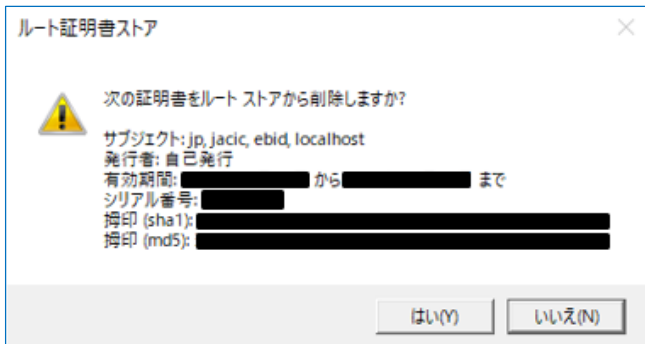
[対処方法 1 ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した場合](#)を参照してください。

- 電子調達システム用プログラムの初回起動時に、セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した。

[対処方法 2 セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した場合](#)を参照してください。

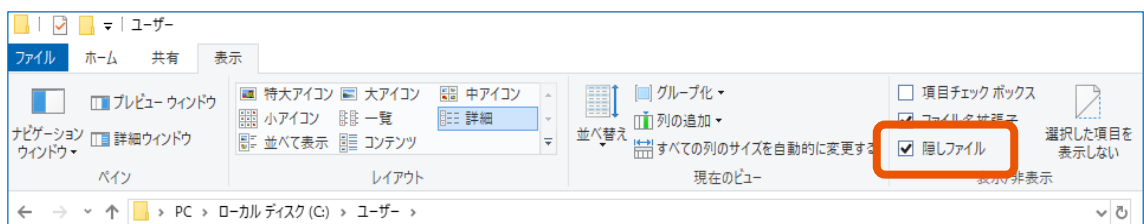
ルート証明書ストアとセキュリティ警告のダイアログでそれぞれ「はい」を選択したにも関わらず、エラーが表示された場合は、「[1.2 “core_relay_sys.log”を確認する](#)」を参照してください。

対処方法1 ルート証明書ストアのダイアログで「いいえ」を選択した場合

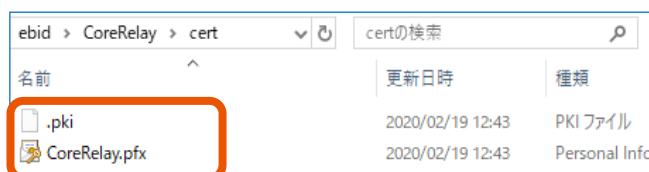


次の手順で、「C:¥ユーザー¥<インストールユーザー名>¥ebid¥CoreRelay¥cert」フォルダー内の“CoreRelay.pfx”と“.pki”を削除してください。

- 1 エクスプローラーを起動します。
- 2 エクスプローラーのアドレスバーに「C:¥ユーザー¥<インストールユーザー名>¥ebid¥CoreRelay¥cert」と入力し、エンターキーを押します。
- 3 エクスプローラーの表示タブで、「隠しファイル」にチェックを付けます。

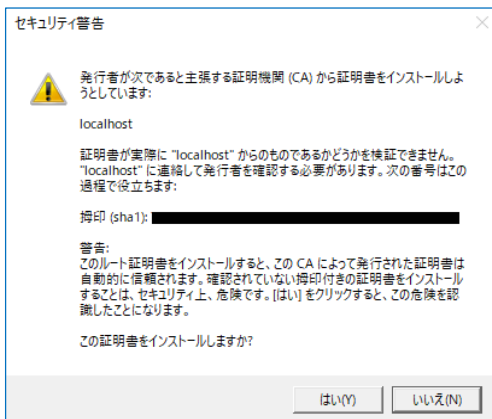


- 4 “CoreRelay.pfx”と“.pki”を削除します。



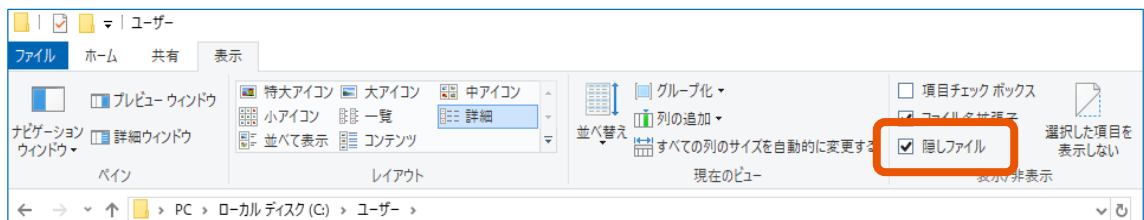
- 5 電子調達システム用プログラムを再起動します。
- 6 ルート証明書ストアのダイアログで「はい」を選択します。
- 7 『Windows セキュリティの重大な警告』の画面が表示されたら、[アクセスを許可する] をクリックします。

対処方法2 セキュリティ警告のダイアログで「いいえ」を選択した場合

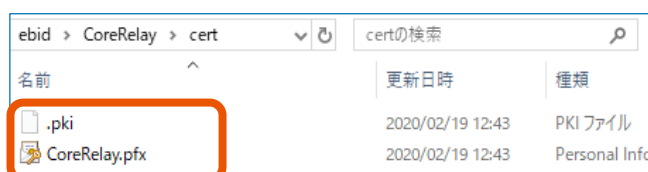


次の手順で、「C:¥ユーザー¥<インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥cert」フォルダー内のファイルを全て削除してください。

- 1 エクスプローラーを起動します。
- 2 エクスプローラーのアドレスバーに「C:¥ユーザー¥<インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥cert」と入力し、エンターキーを押します。
- 3 エクスプローラーの表示タブで、「隠しファイル」にチェックを付けます。



- 4 フォルダーを開きファイルが無いことを確認します。※ファイルがある場合は削除してください。



- 5 電子調達システム用プログラムを再起動します。
- 6 ルート証明書ストアのダイアログで「はい」を選択します。
- 7 『Windows セキュリティの重大な警告』の画面が表示されたら、[アクセスを許可する] をクリックします。

1.2 “core_relay_sys.log”を確認する

ルート証明書ストアとセキュリティ警告のダイアログでそれぞれ「はい」を選択したにも関わらず、エラーが表示された場合は、エクスプローラーで「C:¥ユーザー¥<インストールユーザー名> ¥ebid¥CoreRelay¥logs」フォルダーの“core_relay_sys.log”を確認します。

現象:「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの一部ではありません。」と記載されている場合

エラー発生時刻のログに、「この実装は Windows プラットフォーム FIPS 検証暗号化アルゴリズムの一部ではありません。」の文言がある場合は、証明書が正しくインストールされていない可能性があります。

下記のレジストリキーの設定値を確認してください。

キー :

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Lsa¥FIPSAAlgorithmPolicy

値 : Enabled

種類 : REG_DWORD

設定値 : 1

上記のように、設定値が「1」となっている場合は、グループポリシーで以下項目が「有効」になっている可能性があります。

場所 : コンピューターの構成¥Windows の設定¥セキュリティの設定¥ローカルポリシー¥セキュリティオプション

ポリシー : [システム暗号化 : 暗号化、ハッシュ、署名のための FIPS 準拠アルゴリズムを使う]

対処方法

レジストリキーの設定値を初期値 (0) に変更する、または、グループポリシーを「無効」に変更してください。

■ 下記のレジストリキーの設定値を「0」に変更する

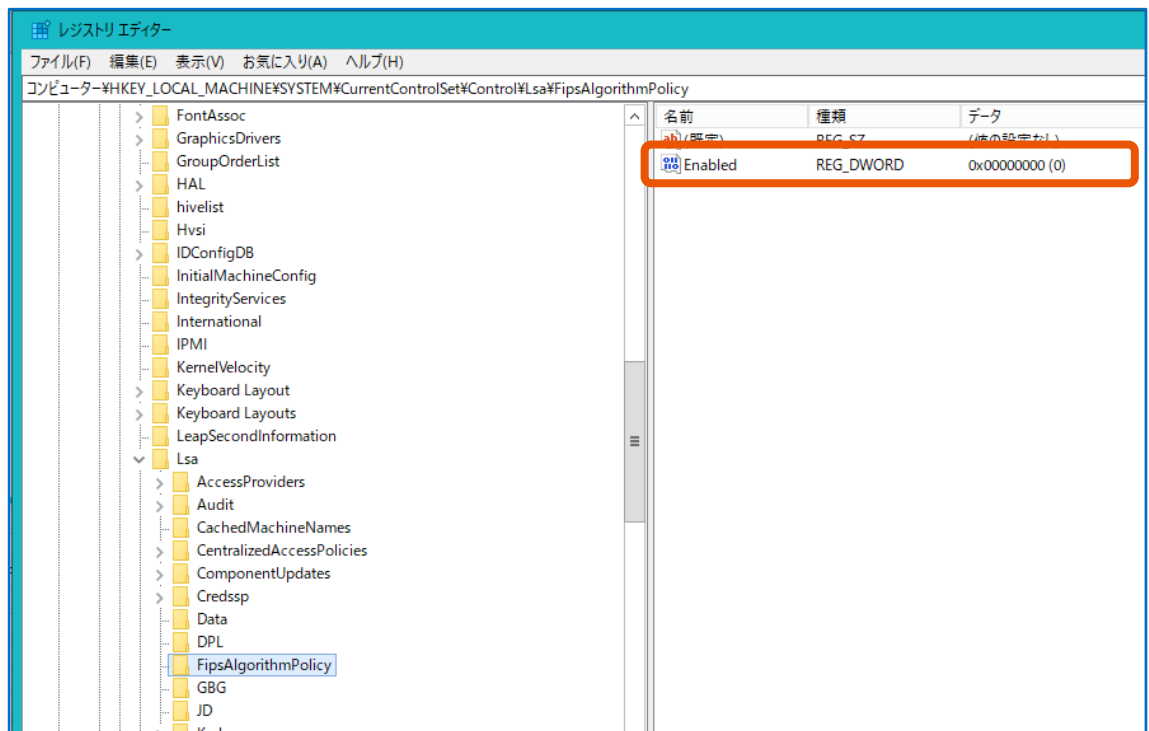
キー :

HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Control¥Lsa¥FIPSAAlgorithmPolicy

値 : Enabled

種類 : REG_DWORD

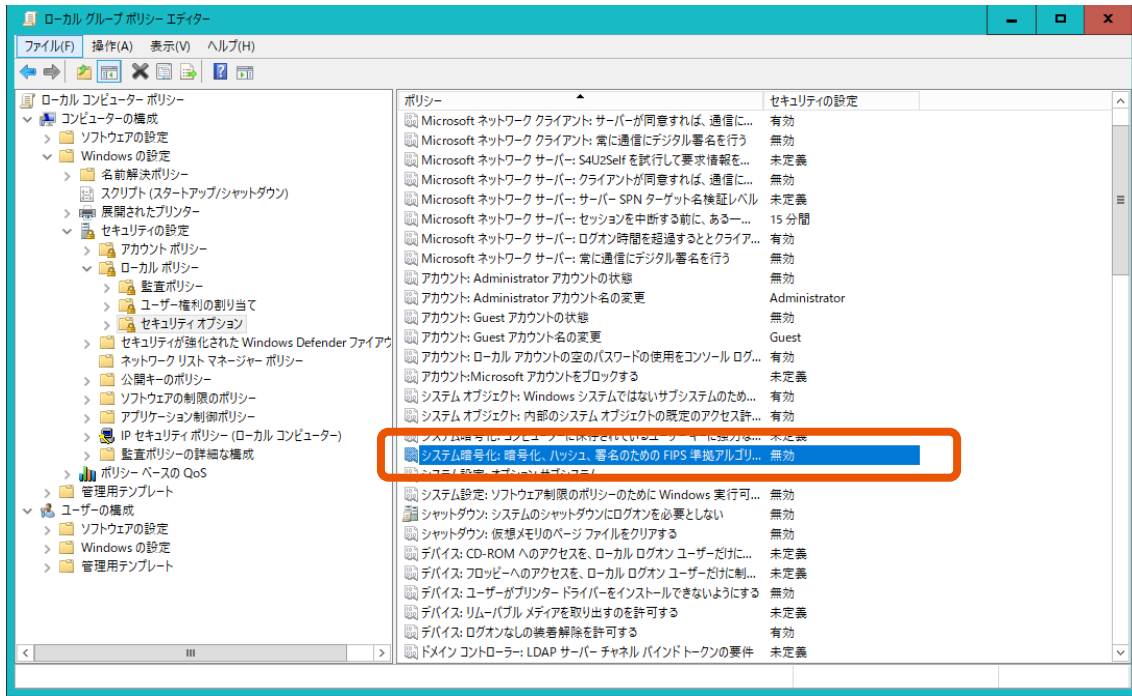
- 1 タスクバーの検索窓に「regedit」と入力します。
- 2 結果の一覧から [レジストリエディター] (デスクトップアプリ) を選択し起動します。
- 3 管理者権限で実行します (利用環境で対処が許可されていない場合は、省内の PC 端末等の管理担当に確認してください)。確認メッセージが表示されたときは、「はい」を選択します。
- 4 設定値を修正します。



- 5 レジストリエディターを終了します。

- 下記のグループポリシーの設定を「無効」に変更する

場所：コンピューターの構成¥Windows の設定¥セキュリティの設定¥ローカルポリシー¥セキュリティオプション
ポリシー： [システム暗号化：暗号化、ハッシュ、署名のための FIPS 準拠アルゴリズムを使う]



利用環境で上記の対処が許可されていない場合は、組織の PC 端末等の管理担当に確認してください。

現象:「アクセスが拒否されました。」と記載されている場合

ログに「アクセスが拒否されました。」の文言がある場合は、電子調達システム用プログラム初回インストール時に必要なルート証明書のインストールが拒否されている可能性があります。

対処方法

- クライアントソフトを 1 つしかインストールしていない場合は、クライアントソフトの設定が正しいか確認してください。クライアントソフトの設定については各認証局のホームページなどで確認し、解決しない場合は各認証局にお問い合わせください。
- ルート証明書をインストールしても改善されない場合は、OS、ブラウザのバージョンを確認し、調達ポータル・電子調達システムヘルプデスクへお問い合わせください。

1.3 ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアする

画面が正常に表示されない、読み込みに時間がかかる場合は、ブラウザーのキャッシュおよび Cookie をクリアしてください。

※キャッシュとは、直近で読み込んだデータを、一時保存しておく機能です。

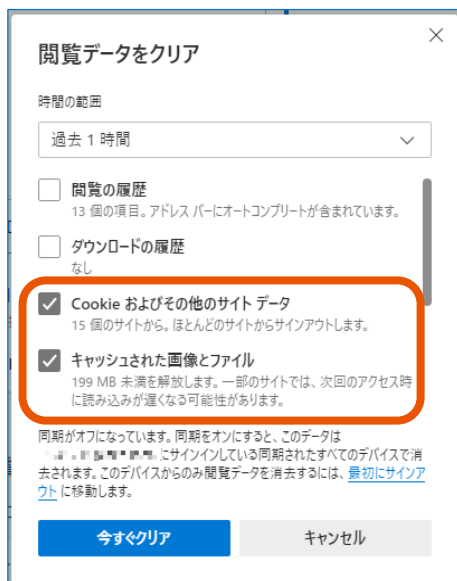
※Cookie とは、ID やパスワードなどのユーザーのユニーク情報を一時保存しておく機能です。

1.3.1 Microsoft Edge のキャッシュおよび Cookie をクリアする

- 1 ブラウザーの右上の [...] アイコンをクリックし、[設定] を選択します。
- 2 左側のメニューで [プライバシー、検索、サービス] をクリックします。
- 3 「閲覧データをクリア」の [クリアするデータを選択] をクリックします。



- 4 「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックします。



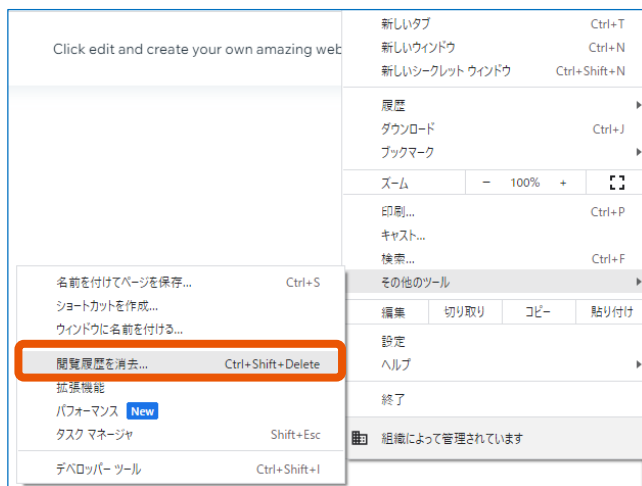
「Cookie およびその他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」以外の項目にチェックが入ってい

る場合はチェックを外します。

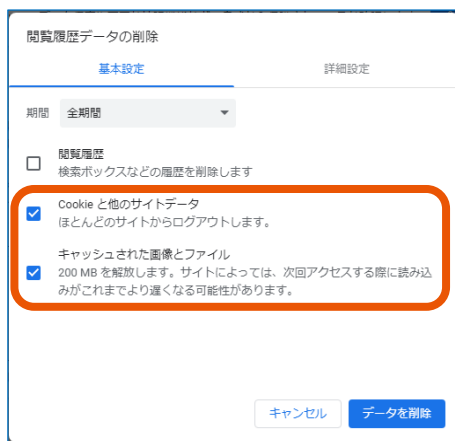
- 5 「今すぐクリア」をクリックします。
- 6 Microsoft Edge を再起動します。

1.3.2 Google Chrome のキャッシュおよび Cookie をクリアする

- 1 ブラウザーの右上の [⋮] アイコンをクリックし、[その他のツール] から [閲覧履歴を消去] を選択します。



- 2 「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」のチェックボックスをチェックします。



「Cookie と他のサイトデータ」と「キャッシュされた画像とファイル」以外の項目にチェックが入っている場合はチェックを外します。

- 3 [データを削除] をクリックします。
- 4 Google Chrome を再起動します。

2. メッセージ一覧

政府電子調達（GEPS）で表示される主なメッセージです。

※表内の { } は変数を表します。

例) 埋め込み文字が右記の場合… {0} 調達実施案件の登録 {1} 完了
{0} が {1} しました。→調達実施案件の登録が完了しました。

2.1 通知メッセージ

メッセージ	埋め込み文字例	説明
一時保存しました。	—	[一時保存] をクリックすると表示されます。
{0} が {1} しました。	{0} 契約案件の登録 {1} 完了	「完了」画面に表示されます。

2.2 エラーメッセージ

メッセージ	埋め込み文字例	説明
無効登録されている為、確認できません。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
資格がない又は見積依頼先ではない為、確認できません。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
資格が無い為提出できません。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
委任権限がありません。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
認証に失敗しました。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
表示するページに対して権限がありません。	—	権限チェックのエラー内容が表示されます。
辞退している為、確認できません。	—	状態チェックのエラー内容が表示されます。
締切日時を過ぎている為提出できません。	—	状態チェックのエラー内容が表示されます。
本調達案件への質問回答期限は過ぎています。	—	状態チェックのエラー内容が表示されます。
該当する検索結果が見当たりません。検索条件を変えてもう一度検索してください。	—	検索エラーの内容が表示されます。

メッセージ	埋め込み文字例	説明
検索結果が {0} 件を超えました。	{0} 200	検索エラーの内容が表示されます。
検索条件を見直して、再度絞り込みをしてください。	—	検索エラーの内容が表示されます。
検索条件に適合する事業者は、既に登録されています。	—	検索エラーの内容が表示されます。
ファイルのサイズが大きすぎます。サイズの小さいファイルを添付して、再度処理を行ってください。	—	ファイルチェックのエラー内容が表示されます。
{0} は {1} 件以上設定してください。	{0} 資格情報 {1} 1	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
入力された {0} が {1} のとき {2} が入力されていません。	{0} 資格種類 {1} 工事、又は測量・建設コンサルタント {2} 府省・部局等	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} してください。	{0} 有効期間（開始年度）は4桁の数字を入力	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} が入力されていません。	{0} 契約番号	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} には {1} から {2} までの範囲で入力してください。	{0} 契約番号 {1} 1 {2} 9223372036854775807	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} は {1} 内の期間を設定してください。	{0} 落札日 {1} 6ヵ月	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} は {1} 以降の日付を入力してください。	{0} 落札日（至） {1} 落札日（自）	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} には“yyyy/mm/dd”の形式で入力してください。（例）2002/01/01	{0} 開札日時	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} が未入力です。{0} を入力してください。	{0} 回答	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
{0} が不正です。	{0} 入札数量	入力値チェックのエラー内容が表示されます。
該当案件の指名事業者ではないため、ダウンロードできません。	—	該当案件の指名事業者以外が、調達資料一式をダウンロードしようとしたときに表示されます。
システム内部エラーが発生しました。システム管理者に連絡してください。	—	何らかの原因でシステムにエラーが発生した場合に表示されます。
不正な操作が行われました。お手数ですが一旦画面を閉じ、ポータルサイトより再度操作を行ってください。	—	何らかの原因でシステムにエラーが発生した場合に表示されます。
処理の受付が終了しませんでした。再度、同じ処理を実行してください。	—	何らかの原因でシステムにエラーが発生した場合に表示されます。

メッセージ	埋め込み文字例	説明
トップページからアクセスしていないか、長時間操作を行わなかったためシステムとの接続が解除されました。 ウインドウの×ボタンで画面を閉じて電子調達ポータルサイトよりアクセスし直してください。	—	長時間画面操作を実施しなかった、または cookie が削除された場合に表示されます。

改訂履歴

版	改訂日	内容	備考
1.0	令和6年1月4日	初版作成	
1.1	令和6年8月11日	表現の修正	